

令和4年5月20日	
資料提供	
担当課	海草振興局農林水産振興部農業水産振興課
担当者	普及グループ 岩橋
電話(直通)	073-441-3378

令和4年産和海地方柑橘類の着花状況調査結果

調査者：わかやま農業協同組合、ながみね農業協同組合、海南市役所、
JAグループ和歌山農業振興センター、県農業共済組合、
県果樹園芸課、県果樹試験場、海草振興局農業水産振興課

調査日：令和4年5月10日（火）

令和4年産かんきつ類の着花量は、品目により園地や樹によるバラツキが見られるものの総体的に平年よりやや多い状況であった。また、新葉数、全体の着葉が中庸であり、樹勢も保たれている。満開期は昨年並で、平年より3日程度早いと思われる。

各品目別の詳細は以下のとおり。

(1)温州みかん

- ①新梢の発生や全体の着葉数は品種により若干のバラツキはあるがほぼ平年並からやや多く、樹勢は中庸であった。
- ②満開期はゆら早生で昨年と同じ5月9日頃（平年より2日早い）、極早生も昨年と同じ5月8日頃（平年より3日早い）、早生も昨年と同じ5月10日頃（平年より2日早い）、普通で昨年より1日早い5月10日頃（平年より3日早い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、ゆら早生で9.4、極早生で10.4、早生で10.2、普通で10.6であった。

(2)八朔

- ①新梢の発生はやや少ないが、着葉数はほぼ平年並みで、樹勢は中庸であった。
- ②満開期は昨年より2日遅く5月13日頃（平年より1日早い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、10.4であった。

(3)清見

- ①新梢の発生や着葉数は平年並みで、樹勢は中庸であった。
- ②満開期は昨年より1日早く5月10日頃（平年より4日早い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、10.0であった。

(4)不知火

- ①新梢の発生や着葉数は平年並みで、樹勢は中庸であった。
- ②満開期は昨年と同じで5月11日頃（平年より2日早い）と思われる。
- ③着花指数は平年を10とした場合、10.0であった。